

チャレンジマッチの部 対戦表

mrt宮崎放送

※各選手2試合を行います。試合の経験を積むことが目的で、優勝者は決定しません。

No.	氏名	所属	学年	県	体重 (kg)
1	中屋 穂乃茄	忠気道場	2年	鹿児島県	30
2	澤 晃真	都農柔道スポーツ少年団	3年	宮崎県	37
3	上土井 夢叶	育成館天道道場	4年	熊本県	28
4	野口 海音	城南少年柔道クラブ	5年	佐賀県	26

対戦スケジュール: 4-26, 4-27, 4-28, 4-29

保護者の部 対戦表

Oro-Gio
oro-gio.co.jp

※男女混合の団体戦（紅白戦）とします。団体で勝ったチームの選手を優勝とします。各試合時間二分。引き分けあり。

対戦日	紅組	対戦相手	白組
2-30	楠見真由美	延岡少年柔道クラブ	宮崎県 対 白垣 幸子
2-31	田邊 竜志	香月道場	福岡県 対 近藤 光央
2-32	高田虎一郎	森義塾柔道教室	熊本県 対 宮尾 広人
2-33	山下 大輔	森義塾柔道教室	熊本県 対 丸山 明

保護者の部・出場選手名簿

選手氏名	県	段位	身長	体重	年齢	柔道歴	戦歴・自己PR・いきこみなど一言
楠見真由美	宮崎県	貳段	163cm	-	-	15年	全日本学生女子78kg 超級三位。怪我をしないように、頑張ります！
白垣 幸子	福岡県	三段	156cm	-	-	11年	自他共栄の精神で頑張ります
田邊 竜志	福岡県	五段	178cm	80kg	42歳	37年	特に無し。怪我をしないように気をつけます！
近藤 光央	宮崎県	五段	166cm	80kg	41歳	28年	特になし。今年もチャレンジ 頑張るしかない。
高田虎一郎	熊本県	参段	167cm	68kg	40歳	15年	なし。子供と一緒に頑張ります
宮尾 広人	福岡県	初心者	163cm	68kg	31歳	1年	なし。子どもと一緒に始めました。子どもたちに頑張っている姿を見せて上げたいのです。頑張ります！
山下 大輔	熊本県	貳段	169cm	81kg	33歳	6年	八代市中体連 80kg 級 準優勝。怪我をしない様に頑張ります！
丸山 明	宮崎県	四段	163cm	76kg	48歳	43年	1988年全日本学生体重別優勝。正しい柔道を心がけます。

保護者の部 大会要項

- 大会名 第6回スポーツひのまるキッズ九州小学生柔道大会「保護者の部」
 大会日時 平成27年1月25日（日）※小学生大会の時間内に「保護者の部」専用の時間帯を設ける。
 会場 KIRISHIMA ツツブキ武道館
 主催 宮崎県柔道連盟、一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会
 共催 MRT 宮崎放送
 主管 宮崎柔道場連盟、宮崎地区柔道会、株式会社ジャパンスポーツコミッション
 後援・協賛等 小学生大会に準ずる。
 参加資格 小学生大会に出場する選手の保護者で柔道経験2年以上。性別は問わない。（同性どうしの対戦）
 エントリー先着30名。
 対戦形式 参加人数を半分に分け、紅白のチーム団体戦形式とする。時間内に決しない場合、引き分けとする。
 組み合わせ エントリーの際に記載する選手情報（段位・経歴・戦績・年齢・体重等）を、主催者で総合的に検討し、対戦相手を決定する。
 計量 行わない。
 審判規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定および、今大会における申し合わせを追加する。
 (2) 試合時間 2分
 (3) 試合時間内に優劣が決まらない場合、引き分けとする。
 組み合わせ発表 1月15日（木）（ホームページ上で発表 URL <http://hinomaru-kids.jp>）
 参加料 3,000円/1名（税込）試合の他、参加者特典を予定。
 表彰 ★参加特典！ 小学生大会選手と一緒に記念写真を撮影し、贈呈させていただきます。
 エントリー方法 優勝チームの選手を表彰する。
 (1) 小学生大会の申し込み時に、併せて申し込む。
 エントリーサイトへは <http://hinomaru-kids.jp> から
 (2) 申込期間 平成26年10月22日（水）～12月19日（金）まで（先着順30名）
 (3) その他、小学生大会に準ずる。
 ※入金された参加費は理由のいかんを問わず返金致しません。
 応急手当等 主催者は、試合中の怪我について応急処置を施す。参加者は事前に必ずスポーツ傷害保険等に加入すること。
 参加申し込み者は下記主催者免責事項を了承したものとす。
 小学生大会同様に、柔道衣背面の自身の名前ゼッケンの下に、主催者から送付される大会用スポンサーゼッケンを縫い付けること。
 ゼッケンについて また、各自で小学生大会出場選手同様の所属道場名入り選手ゼッケンを背面に縫い付けること。
 その他 (1) 試合場に小学生選手席を設け、選手のそばで試合を観戦できるようにする。
 各選手は、当大会の掲げる「礼儀・礼節」「柔道の本質」の模範となるよう試合すること。
 (2) 選手は事前にコンディション維持に努め、当日健康に不安のある人は棄権すること。